

太平洋諸島学会 第3回研究大会プログラム

日 時： 2015年7月12日（日） 11:00～17:00

場 所： 筑波大学東京キャンパス（文京校舎）120教室／東京都文京区大塚3-29-1

開 場 10:30

開 会 11:00

大会開会あいさつ

- ・小林 泉（太平洋諸島学会会長／大阪学院大学）
- ・関根久雄（大会委員長／筑波大学）

個人発表 11:10～14:50 【個人発表各25分+質疑応答15分】

第一部（午前）11:10～12:30

発表1. 佐本英規『グローバル化時代におけるメラネシア在来音楽：ソロモン諸島アレアの竹製パンパイプス・アウをめぐって』（筑波大学大学院）

【進行／論評者：グレッグ・ドボルザーク（一橋大学准教授）】

発表2. 水元 芳 『ミクロネシア連邦ポンペイ州における人々の「肥満」意識に関する研究』（福岡女子大学准教授）

【進行／論評者：関根久雄（筑波大学教授）】

昼食休憩 12:30～13:30 （理事会開催）

第二部（午後）13:30～14:50

発表3. クニオ・スエナガ『移民と出稼ぎ：ミクロネシアから米国へ』（駐日FSM大使館書記官）

【進行／論評者：飯高伸五（高知県立大学専任講師）】

発表4. 小島 潤『オーストラリアの対フィジー政策評価』（Manulife Investment Japan）

【進行／論評者：東 裕（日本大学教授）】

（休憩 10分）

学会総会 15:00～15:30 （2014年度の収支報告、会則変更について、その他）

シンポジウム 15:35～17:00

テ ー マ：『「太平洋・島サミット」の開催意義と今後の展開』

司会・進行：黒崎岳大（国際機関太平洋諸島センター次長）

- 討 論 者
- ① 畝川憲之（大阪学院大学准教授／島サミット有識者会合委員）
 - ② 千野境子（元産経新聞論説委員長／島サミット有識者会合委員）
 - ③ 和田幸浩（外務省大洋州課長）

懇 親 会 17:30～

<研究大会実施に関するお知らせと注意事項>

◎ 出欠について

- 1) 研究大会ならびに懇親会の出欠については、準備の都合上、出来るだけ早くメールかファックスで学会事務局までお知らせいただきたく、お願いいたします。
- 2) 未だ学会に入会されていない方（非会員）の参加も歓迎いたします。

◎ 会場について

- 1) 学会は、筑波大学東京キャンパス（文京校舎）120教室での開催を予定しておりますので、ご来場の際は教室番号をご確認ください。
- 2) アクセス：地下鉄 丸ノ内線 「茗荷谷（みょうがだに）」駅出口1、徒歩2分（東京都文京区大塚3-29-1）

◎ 昼食について

- 1) 学会用に昼食会場は確保されておりません。各自で、大学周辺にある食堂やレストランをご利用ください。

◎ 懇親会について

- 1) 懇親会は、出席者のおおよそ数が固まってから、大学周辺の会場を決定しますので、本状の送付時点では決まっておりません。よって会場は、学会受付時にお知らせいたします。
- 2) 懇親会のみに出席予定の方には、会場が決まり次第、ご連絡いたします。
- 3) 懇親会の参加費（4,000円）は、当日受付にて頂戴いたします。

以上

学会事務局：

東京都港区赤坂 8-10-32 アジア会館 3F 太平洋協会内／事務局長 芳賀達也
電話：03-3403-8474 FAX：03-3404-7810 Email：haga@pia.or.jp